回覧

【教育目標】
○よく学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子

あわの

【粟野小のめざす子】
５つの気（本気　やる気　和気　元気　根気）のある子
５つの気ですて木な学校を創ります。　文責　茅島　拡

令和３年１２月１７日
住　所：鹿沼市口粟野８０２
ＴＥＬ：８５－２０３４
ＦＡＸ：８５－２１２５
〈公式ホームページ〉
アクセスは QR コードをご利用ください。

〈令和３年を振り返って〉お世話になりました。

今年もあと１０日足らず。本校への温かいご支援・ご協力ありがとうございました。学習発表会のアンケートでは「ここまできちんとできるとは思いませんでした。」とか、「誰一人ふざけることなく真剣な態度で感心しました。」、「自分の意見を述べていて参考になった。」等一人ひとりの成長を認め評価してくださる内容をいただきました。反面運営については課題がありました。始まり、終わりの時間を明確にすること、観覧席の設置の仕方など次年度に生かしていきたいと思います。

改善のためのご意見等ありがとうございます。

〈5・6年生体力向上エキスパート授業　高校の先生が指導者として来てくださいました。〉

〈忘年会〉忘れる人だけが前へ進める。

「忘年会」は室町時代に起源を発し、日本独自のものです。そもそもは「としわすれ」と言われ歌を詠むことが目的で、現在の忘年会とはほど遠いものでした。現在の忘年会に近くなったのは江戸時代だそうです。一般庶民が１年の憂さを晴らすのが目的だったようで、武士はあえて「忘年会」は行わず「新年会」を開いたと言う説もあるようです。しかし単にお酒を飲むことが重要でなく、この１年の失敗や、トラブルそれらを全て忘れ仕切り直して前に進むというとても大切な節目の会でもありました。今年の忘年会の実施は通常通りには行かないと思いますが、実施する日が来たら組織の結束を固めるための大切な行事には違いありません。

〈　あいさつ運動は忘れず続けます〉

〈きっかけ〉　志村けんさんのエピソードから

コロナウイルス感染症のため惜しまれながら世を去った志村けんさん。芸人になろうとしたきっかけは、厳格で躾にうるさかった父が、お笑い番組を見て大笑いしてその瞬間家庭内が明るくなったことが忘れられず、芸の道に入ったということです。芸を磨くためには、台本があってしっかり稽古するけれど、その痕跡が周りに知られてはだめ、あまりに楽しそうだからこれはアドリブに違いないって思わせたら本物、またマンネリというのはやり遂げた証、そう簡単にできることでない。新しいものを求めすぎない、マンネリになってもやる。永遠に100点は取れないもの。そんな言葉を残しています。

〈　3年生が1年生へ読み聞かせをしました。アドリブもあったかな〉

〈夢は口に出すと強い〉自分の夢を常に口に出しているとかないやすいといいます。

３、４年生の頃、もった夢は一番実現しやすいと言われます。

というのはやはりその時期の子供たちは、スポンジのように理想を吸収し、抵抗なく多くの人にその夢を話すし、自我が芽生えるこの時期の夢はいつまでも心に焼き付いているからではないかと思います。新春を迎えるこの時期、再度自分の実現したい夢、些細な夢でいいと思います。ぜひ新年に自分の夢を確認しこれからの成長に向け、歩み始めてほしいと思います。

〈自分の教え子も4年生のときの夢だったサッカー選手になりました〉

〈６年生　音楽科研究授業〉

１１月２７日鹿沼市教育委員会の先生をお招きして６年生の音楽科の研究授業を行いました。今回は音楽作りアプリを用いて、自分で旋律（音の線的つながり）を作ります。音楽作りアプリは音階が色で示してあり、曲想を視覚的にイメージしやすくとても作りやすいものになっています。

作った旋律はすぐ聞くことができるため、改善しやすく、互いの曲をイヤフォンを用いて味わっていました。これまで言語を用いてのコミュニケーションでしたが、音楽を通して互いの思いを受け止めると言う芸術ならではの交流に深い学びがありました。

〈持久走記録会〉自分のめあてに向かってがんばりました。温かい声援がありました。

持久走は苦手な子にとっては、苦痛以外の何者でもありませんが、昨年は「完走」できなかった多くの子が「完走」することができました。一生懸命走る姿に大きな声援をおくる子がたくさんいたこともその要因であると思います。また、当日は朝８時頃まで雨が止まず、実施が危ぶまれましたが５・６年生が朝から熱心にスポンジで水取りをして何とか実施することができました。下校のとき、その話を全校生にしたところ自然と拍手が起きたこともとてもうれしく思いました。

〈３年生総合的な学習の時間〉城山を守る会　浅野様にお世話になりました。

本丸跡です

１１月１９日、NPO 法人城山を守る会代表の浅野　様に案内していただき、有意義な学習をすることができました。

県内でここまで現存している監視硝は２箇所ほどしかないこと、頂上には徳川慶喜の直筆の「城山」の文字が掘ってある石碑があること、とても歴史的な価値のある財産であることを実感できました。

〈粟野　夢花咲く　ART　FESTIVAL〉真の芸術に触れました。

１１月１４日旧粟野中学校で「粟野　夢花咲く　ART　FESTIVAL　ワークショップ」がありました。本校で希望する児童が石彫、木彫、絵画に分かれて参加しました。

本物の作家の皆さんから指導していただき、芸術を味わう絶好の機会となりました。本来午前中でしたが、みんな熱心に創作活動に関わり真の芸術を満喫しました。出で立ちも正に作家さんそのものでした。

〈６年生理科出前授業〉博物館の先生から専門的な内容を楽しく教えていただきました。

県立博物館の辻先生にお世話になり、体験授業を実施することができました。地層や化石の講義の後、各自化石の発掘です。希少な「ハエ」の化石を発掘した子がいました。

１月の行事予定

１１日　始業式　安全点検　１２日　身体計測（１～３年生）　１３日　身体計測（４～６年生）
１４日　通学班会議　１７日　委員会活動　２０日　小・中交流学習　粟野中新入生保護者説明会
２１日　４年生プラネタリウム学習　２６日　１年生算数科研究授業　２８日新入生保護者説明会

〈柊（ひいらぎ）のごとく〉

病害虫に強くのこぎり状に葉がとがっていることから、日本では邪気を取り払う縁起のよい木として植えられています。節分には柊の小枝に焼いたイワシの頭を刺し、魔除けとして使います。柊は若木の頃は葉がとがっていますが、年月と共に変化してとげがとれ、丸みを帯びることから「先見の明」という花言葉があるそうです。将来別の形に変化する性質が「先を見通す」と考えられているようです。柊のごとく、この先の状況を柔軟に考え、自己を変容させる気持ちを大切にしたいですね。